

平成十九年 造幣局桜の通り抜け

俳句入選句

辻田 克巳 選

特選

(三句)

花鳥の手荒き歓喜ありにけり

京都府京都市

平岡 公子

1

【評】 桜に遊ぶ小鳥の至福の刻。中七「手荒き歓喜」
が絶妙で、景が生き生きと現前する。

手弱女といふ花のあり下に佇つ

大阪府寝屋川市

篠永 妙子

【評】 しなやかで美しく優しい女、と聞いて思わず
その樹下に佇みたくなったというのだ。

さくらさきわたしのこころをくはる

大阪府豊中市

新田 裕希

【評】 私の心の中まで桜色にしてくれた、の意。
「さくらいろ」は仕合せの象徴である。

入選

(五句)

降りつつも日の射してゐるさくらかな

大阪府門真市

北田 桃代

外つ国の人を案内し通り抜け

大阪府八尾市

喜多 繁子

通り抜け花の氣息を仰ぎけり

大阪府寝屋川市

岡西恵美子

花に来る黒き小鳥の名を知らず

大阪府豊中市

金岡 道子

風少し冷たく花は七部咲き

奈良県北葛城郡

山口 彰子

佳作

(二五句)

足病める妻の手をとり通り抜け

大阪府大阪市

関 義明

花冷えの防犯カメラ私を見る

京都府宇治市

福井 貞子

遠き城遠く見てゐる花疲れ

奈良県生駒市

塩川 雄三

花冷えの開門は午後三時から
京都府京都市

八田弥須子

花びらはどこまでちつてゆくのかな
大分県大分市

永松すみれ

花見船電飾灯し行き交えり
兵庫県神戸市

小島 光子

花吹雪全身に浴び通り抜け
滋賀県大津市

小嶋 芳雄

花の下しあはせさうな顔ばかり
兵庫県三田市

石塚 春美

通り抜け彼女の頬も桜色
大阪府大阪市

南都 一敏

一重にも八重にも花のころかな
東京都墨田区

福本 京子

屋形船待てば桜の吹雪かな
兵庫県神戸市

出店智恵呼

車椅子薄く化粧ひて花を見る
大阪府大阪市

吉川 小静

花冷えの襟元少し合わせけり
大阪府東大阪市

藤原与志子

花衣たてメ絞りグレーにて
大阪府大阪市

津田眞砂子

おばあちゃん天から見える？紅桜
大阪府岸和田市

木下 由紀

花に聞くわたしの恋も咲きますか
京都府京都市

石川 哲也

爛漫の花に句心漂はず
大阪府門真市

棚橋千鶴子

羽織るもの手にしてゐたる夕桜
大阪府大東市

堀 志皋

よう艶な楊貴妃桜見頃なり
大阪府堺市

内田 陽子

今年また長寿うれしき通り抜け
大阪府大阪市

横川 敏子

夜桜や降下の飛機を指呼の間
大阪府高槻市

日下 總一

雪洞に枝さし伸べて八重桜
大阪府大阪市

大鹿 正男

さくらみていとしい人を想いだす
大阪府大阪市

大久保晶弘

花満ちて造幣局をかくしけり
大阪府大阪市

富田 栄子

桜ちり私の恋もちつてゆく
和歌山県和歌山市

八木 大輔

選者吟

辻田 克巳

落花なほ一片もなく雨降り

雨に咲く桜よ律義また健気

通り抜けところどころに紅床几

車椅子卒寿といへり花の庭

造幣局三万坪の花の雨